



# 新型コロナウイルス電話相談窓口

保健所

2月3日(日)和歌山市保健所生活保健課より「新型コロナウイルス感染症電話相談窓口の開設について」というお知らせが届けられました。内容は、次のとおりです。

和歌山市保健所では2月3日、新型コロナウイルスに関する市民への電話相談窓口を開設しました。

和歌山市保健所相談窓口  
073・488・5112

(平日の8時30分〜17時15分)  
また、和歌山市ホームページでも新型コロナウイルスに関する情報を公開しています。

## 【市民の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症は、現在流行が認められていない状態ではありません。新型コロナウイルスの感染を防ぐには風邪やインフルエンザ対策と同様に

に市民の皆様が一人ひとりの咳エチケットや手洗いの実施が不可欠です。皆様の協力をお願いします。

和歌山市の中学校給食について  
みんなで考える学習会  
**どのおいもおいしい学校給食を**  
講師 藤原辰史 京都大学 准教授  
「学校給食の歴史(岩波新書)」著者  
**2月15日(土) 14時〜**  
和歌山市勤労者総合センター6階  
主催・よりよい中学校給食を考える会

# 日本共産党

## 「赤旗」創刊92周年

2月1日「しんぶん赤旗」は創刊92周年を迎えました。日頃の「赤旗」の支援に感謝を申し上げます。「赤旗」は1928年2月1日の創刊以来

日本共産党の中央機関紙としてだけでなく、平和と社会進歩を願う人々の共同の新聞として歴史を刻んできました。戦争や弾圧で余儀なく発行を中断された時もありましたが、戦争反対・国民主権・生活擁護の立場を貫いてきたことは、大きな誇りです。権力を私物化するアベ政権が憲法破壊の

政治を加速するもどくタブーなく直筆を伝え、国民の利益を守る新聞として、役割を果たしていく決意です。広告収入に依存する他のメディアと異なり、大企業のお金収入に頼らず購読料に支えられている「赤旗」は財界・大企業の不正と横暴を堂々と正せるのです。

# 国民救援会・新春のつどい

1月16日(木) 華月殿で日本国民救援会和歌山本部の新春のつどいが開かれました。日本共産党からは楠本文郎県議や田嶋卓司御坊市議、和歌山市議団から井本ゆづいち市議と私、ひめまが参加しました。

年金裁判や生活権裁判原告の訴えや地域救援会の取り組み報告。今年から趣向を変えて生演奏による歌と昭和歌謡のワンダークワイズがなかつたのが残念。

# 障害者後援会の新年会

1月19日(日) 昼・美園町1-1050で日本共産党障害者後援会の新年会が開かれ、奥村のり子県議、市議団から藤下ナチ子、南畑ナチ子、坂口多美子市議と私、ひめまが参加。自己紹介のあとお弁当をいただき、アロー・ダンスやギターの演奏しました。和歌山パズルのICカード化、スノーパールのセシフジ化やまきにくい道路などをまざまま要望をお聞きしました。

# 和歌山民商の新年会

1月19日(日) 夜・畑屋敷の丸水産で民商の新年会が開かれ、日本共産党から海野地区委員長、奥村のり子県議、市議団から南畑ナチ子市議と私、ひめまが参加。この日、22時から断水が始まる対象地域で、いさなり市の取り組みの報告を求められたので、恐縮しながら漏水の経緯と断水しこの工事計画を話しました。断水による市民への影響は大打撃だとのことでした。